

内視鏡センターの特徴

日本消化器内視鏡学会指導施設に認定されており、豊富な経験を持つ指導医、専門医が内視鏡検査(胃カメラ、大腸カメラ、胆・膵内視鏡)および治療を行っています。

内視鏡センター お問い合わせ：04-7171-2562

■ 検査のご予約

胃・大腸内視鏡（カメラ）検査は緊急時などや病状により、外来受診当日に実施することも可能です。

■ 苦痛を軽減した検査の実施

以前に胃や大腸の内視鏡（カメラ）検査を実施したけれど辛かった、初めてで心配である、などの方は下記の方法で苦痛の軽減が可能です。

- ・胃：ご希望があれば細い内視鏡スコープを使用した経鼻内視鏡や鎮静剤使用が可能です。
- ・大腸：鎮静剤使用や入院での検査が可能です。

※鎮静剤使用：注射(静脈麻酔)をして不安を軽くし、うとうととした浅い眠りの状態（意識下鎮静）の間に検査を行います。

■ 内視鏡による治療

- ・早期胃癌：内視鏡的粘膜下剥離（ESD）または粘膜切除術（EMR）
- ・早期大腸癌・大腸腺腫（大腸ポリープのうち最も多いもの）：内視鏡的粘膜切除術（EMR）または大腸ポリープ切除術（ポリペクトミー）
- ・吐血、下血、血便などの消化管出血：内視鏡的止血術
- ・急性胆管炎や閉塞性黄疸(総胆管結石、胆管癌や膵癌など)：胆膵内視鏡(ERCP)、内視鏡的乳頭切開術、胆管結石除去、胆管ステント挿入など
- ・何らかの理由で経口摂取が困難な方に対する経腸栄養目的：内視鏡的胃瘻造設(PEG)と胃瘻チューブ交換
- ・消化管異物(義歯、魚骨、薬のPTP包装シートなど)：内視鏡的異物除去術

■ ピロリ菌検査

胃内視鏡（カメラ）検査でピロリ菌感染が疑われた場合は、血液検査でピロリ菌の有無（ピロリ菌抗体）をチェックします。必要があれば便や呼気などでの検査を行う事もあります。

※ピロリ菌が感染している状態では胃癌発生のリスクが高いため、ピロリ菌が陽性の方には除菌療法（内服治療）をお勧めしています。

内視鏡センター医師担当表

検査	診療時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
上部内視鏡	09:00 ~ 12:00	長野	藤田	前畑	森田	初谷(1,4週)	担当医
大腸鏡	14:00 ~ 17:00	阿部	藤田	長野	森田	初谷(1,4週)	

